

ながさき 市議会だより

No. 184

2023.11.1



長崎帆船まつり

11月4日(土)～5日(日)

(長崎水辺の森公園、出島ワープ周辺)

※この写真は、2019年に撮影されたものです

主な掲載内容 令和5年9月定例会

本会議の様を長崎ケーブルメディアやインターネットで生中継しています。
また、インターネットでは録画中継もご覧になれます。YouTube(ユーチューブ)でも視聴できます。

長崎市議会

検索

9月定例会の概要

令和5年9月定例会を次のとおり開催しました。

9月1日	本会議 (議案上程(委員会付託)) 常任委員会 本会議(委員長報告)
9月7・8日	本会議(市政一般質問)
9月11日	本会議(市政一般質問、追加議案上程(委員会付託))
9月12日	常任委員会 本会議(委員長報告)
9月13・14日	常任委員会
9月19日	特別委員会
9月20日	本会議(委員長報告等)

▶ 議決結果(詳細はP 7)

・ 市長提出議案	原案可決	45件
	修正可決	1件
	人事案件同意	2件
	専決処分の報告等	7件
・ 請願	不採択	1件

一般会計補正予算(第6号)を修正可決

<主な内容>

- ◆原油価格・物価高騰対策に係るもの
- ◆施策の推進に係るもの
 - 長崎ペンギン水族館施設整備事業費
 - ・キャッシュレス対応の駐車場料金事前精算機の整備
 - 農業振興施設整備事業費補助金(長崎びわ寒害対策施設)
 - ・簡易ハウスの整備・小型温風機の導入支援
 - バスロケーションシステム導入事業費補助金
 - ・バスの接近情報など運行状況をリアルタイムで表示するスマートバス停の整備費用を支援

詳しくは、ホームページでご覧になれます。



※本議案の修正部分の内容については、6ページの常任委員会における審査の主な内容(建設水道委員会)をご覧ください。

一般質問

質問した順番で掲載しています。
各議員名の下にあるQRコード*から質問の映像をご覧になれます。

建設候補地選定後も、建設地決定までは地元への説明など一定の期間を要することが見込まれるため、候補地選定については早期に整理できるよう取り組んでいく。



▲もみじ谷葬斎場

問 早急に建て替え場所の選定が必要であるが、そのための組織体制や検討状況を伺いたい。

答 今年4月に新たに市民生活部に部内の施設調整等を担当する理事と自治振興課に担当係長を配置し、組織体制を整備した。建て替え場所については、長崎市新火葬場整備基本構想で掲げる6つの視点をもとに、現在地と同程度以上の面積を有する市有地を数十か所抽出した上で、庁内の検討会議に加え、関係部局長も含めて協議を行い、さらに一定数までの絞り込みに向けて作業を行っている。その後は、長崎市火葬場整備計画審議会でも意見を伺いながら数か所程度に絞り込みたいと考えている。

火葬場の建て替え



市民クラブ
五輪 清隆



マイボトル運動・給水スポットの拡充



公明党
久 八寸志



問 マイボトル運動の推進のため、感染症対策にも有効な非接触型給水器を計画的に設置する考えはないか。

答 マイボトル運動は、ペットボトル削減や二酸化炭素排出削減につながるとともに、気候変動による熱中症対策としても重要な取組である。

令和4年度以降、科学館、あぐりの丘、新市庁舎、ペンギン水族館、体験の森の中の森林体験館に給水器を設置しており、多くの人が利用している。さらに今年11月に開催されるながさきエコライフ・フェスタでも、多くの市民の方が体験できるように、移動式の給水器の設置を検討している。

今後も、旧型給水器の利用状況や施設の管理状況、利用者のニーズ等を勘案しつつ、マイボトル運動の推進を着実に進めていきたい。



▲市庁舎の給水器



自民創生
梅元 うめもと

建治 けんじ



斜面市街地の住宅政策

問 斜面市街地に住宅が多い本市の住宅政策は、生産年齢人口の増加につながる効果を上げたのか、効果の検証結果と今後の取組について伺いたい。

答 斜面市街地に多い空き家等に活用できるリフォーム等への助成を行うとともに、令和3年度からは若者等に選ばれるまちづくりに寄与する民間事業者の取組を認定する「住みよかプロジェクト協力認定制度」を開始し、市民や移住者への住宅供給や情報発信、住宅問題等に関する相談・支援を行う仕組みの構築等にも取り組んでいる。取組の効果は一定あるものと考えているが、斜面市街地では、交通環境の改善や居住需要の喚起が課題であると考えているため、さらなる情報発信に努めるとともに、民間事業者とも連携して使える空き家を活用して若い世代等の居住促進につなげていきたい。

長崎市に
よりよい
住まいを



▲住みよかプロジェクトのロゴマーク



市民クラブ
中山 なかやま

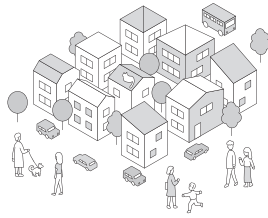
大 だい



立地適正化計画の今後の方向性

問 策定から5年が経過した本計画のこれまでの取組の評価と今後の取組について伺いたい。

答 都市機能の誘導については、出島メッセ長崎の開業やJR長崎駅ビルなどの建設が進み、居住機能の誘導については、新大工町地区市街地再開発事業の完成や、緩和した容積率を利用したマンション建設が進むなど、計画に定めた居住誘導区域内の人口密度は目標値に届いていないものの、一定の成果が出ているものと考えている。



現在、計画の改定作業を進める中で、進捗状況や効果、課題等について整理を行っており、今後も公共交通機関の利便性の維持をはじめ、土地利用の規制緩和など各種誘導施策等に取組み、にぎわいのある、安全安心に暮らせるまちづくりに取り組んでいきたい。



ながさきミライ
平 ひら
たけし



長崎スタイルのラストワンマイル

問 昭和時代に造られたニュータウンでは、高齢化が進む中、長崎スタイルのラストワンマイル（バス停から自宅までの移動手段）の取組が必要と考えるが、見解を伺いたい。

答 既存のニュータウンについては、バス路線が存在するものの、高齢化によりバス停までの移動に負担を感じる住民が増加しつつあると認識している。このような地域でのラストワンマイルの取組としては住民相互の支え合いの考えなどを基本としつつ、具体的に地域からの要望などがあれば、他都市の事例や国の補助金の活用など、本市としても可能な限り支援したいと考えている。取組に際しては、タクシー事業との兼ね合いを考える必要があるが、市民の暮らしやすさに重要なことであるため、引き続き取り組めることから取り組んでいきたい。



ながさきミライ
森きようへい



まちぶらプロジェクトの評価と今後

問 これまでの10年間の評価と、今後の継続の在り方について伺いたい。

答 新大工町地区市街地再開発事業や、町家の維持と再現に係る47件の助成、唐人屋敷の顕在化事業、山手地区における歴史的風致維持向上計画の策定と事業着手、95件に及ぶまちぶらプロジェクト認定事業などにより、減少傾向にあったまちなかの歩行者通行量がコロナ禍前には増加傾向に転じるなど、一定の成果を上げてきたと考えている。



今後は、新長崎駅ビルや長崎スタジアムシティなどの新たな集客拠点から生まれるにぎわいをまちなかまで呼び込むことが必要不可欠であるため、本プロジェクトの取組を継続し、これまで以上に地域の商店街や自治会、活動団体と連携したにぎわいづくりの取組が生まれるようまちなかの支援を続けていく。


概要

一般質問

常任委員会の
主な審査内容

議決結果、
人事、請願等

行政視察等



公明党
福澤 照充
あきまさ てるみつ



土地利用規制緩和による人口減少抑制策

問 人口減少を抑制するために、若い世代が求めやすい安価な住宅を供給できるよう、市街化調整区域の土地利用規制を緩和するなどの施策が必要だと思いが、見解を伺いたい。

答 住宅の供給戸数を増やすため、規制されていた市街化調整区域での住宅団地開発を、一定の条件のもとで地区計画制度を用いて可能としたり、開発における一戸当たりの最低敷地面積の緩和等に取り組んできたが、市街化調整区域での宅地開発について、既存制度をより即効性、実効性があるものとなるよう、既に見直しに着手している。また、土地利用の高度化による住宅供給戸数の増加策として容積率を緩和しており、徐々に効果が見えているところである。

今後も、さらなる住宅供給戸数の増加に向けて取り組んでいきたい。




日本共産党
中西 敦信
なかにし あつのぶ



市道葉山線の葉山橋拡幅工事の進捗状況

問 地元からは早期完成を求める声があるが、工事の進捗状況を伺いたい。

答 車道幅員が4メートルと狭小な葉山橋については、通行車両及び歩行者の危険性が高いことから地元からの拡幅要望も受け、平成20年度に事業に取りかかり、用地取得や関係機関との協議を経て、令和4年4月から橋の拡幅工事に着手している。工事内容は、橋を架け替え、車道6メートルと両側歩道を設けるもので、1期目の工事として、計画全体幅員12メートルのうち5メートルの架設を令和5年4月に完了し、現在は橋に取り付けている水道管やガス管の移設工事を行っている。引き続き、既設の橋の撤去や残りの橋の架設工事を実施するための工事発注手続きを進め、令和6年秋の完成を目指し、事業の進捗に努めていく。



▲葉山橋



公明党
林 広文
はやし ひろふみ

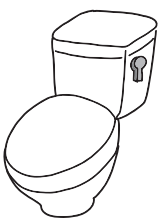


学校トイレの洋式化

問 本市の公立小中学校のトイレの洋式化率は全国平均を大きく下回っているが、国も目標を定め洋式化を進めていく中、今後の取組はいかがか。

答 本市では新築・改築校をはじめ、既存校についても、平成28年度から令和元年度までのトイレ洋式化改修工事において、当時の子ども数から算出した必要便器数に対し、小学校は80%、中学校は50%とする目標を設定の上で洋式化を進めた結果、一定目標は達成しているものと考えている。

しかし、洋式化改修の計画時から一定期間経過しており、社会全体のトイレの洋式化の状況も変化していることから、学校や子どもたちの意見、県内の学校の状況、文部科学省の動きを踏まえ、この基準を見直す時期にきているものと考えている。




自民党
柿田 正
かきわぎ まさひろ



学校給食費の今後の在り方

問 本市の学校給食費は全国的にも負担が低くなっているが、質の高い学校給食という観点から今後の給食費についてどのように考えているのか。

答 学校給食費は平成20年度を最後に改定しておらず、消費税増税や食材価格の上昇などもあり、献立作成に苦慮している。特に、昨年度の急激な物価高騰により、現在の給食費では栄養価等を満たす給食を作ることは困難と判断し、昨年度及び今年度については、国の交付金を活用することで保護者負担額を据え置いている。

今年度も食品に係る物価は上昇を続けていることから、質の高い給食の提供のためには、1食当たりの単価上昇は避けられないと考えているが、この単価上昇が新たな保護者負担につながるよう検討していききたい。



▲学校給食の様子



日本維新の会
うめもと
梅本 けいすけ



今年の平和祈念式典の検証

問 台風の影響により会場を出島メッセ長崎に変更したことに伴い、開催費用はどのくらい変更があったのか。また、なぜ内閣総理大臣や長崎県知事は参列しなかったのか。

答 参列者の安全確保を第一に考え、苦渋の判断で屋内会場において原則、主催者のみの縮小開催とした。来賓についても、全て参列を見合わせていただき、内閣総理大臣及び長崎県知事はビデオメッセージをいただいた。

会場変更に伴う主な費用は、平和公園の会場設営の中断に伴い、工事等の契約金額が約620万円減の約4,060万円となったが、サブ会場としていた出島メッセ長崎の借上料がレイアウト変更等により約20万円増となった。

今年の経験を踏まえ、同様の事態や様々なケースを想定しつつ、次年度以降の円滑な開催につなげていきたい。



▲平和祈念式典の様子



自民創生
やました
山下
いわき
巖記

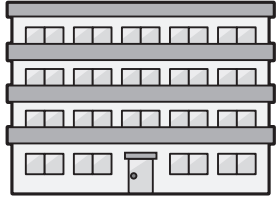


日見地区の市営住宅の建て替え

問 少しでも早い完成を目指して取り組んでほしいが、現在の事業の進捗状況と今後の見通しについて伺いたい。

答 日見地区の市営住宅のうち老朽化による機能低下が進んでいる建物について約5割縮減し、約290戸の建て替えを行うこととしている。現在第1期として約60戸の整備事業に着手しており、民間のノウハウ等を活用する設計施工一括方式による整備を行うため、民間事業者の公募、選定などの準備を行うとともに、入居者で組織する建て替え協議会の設置を進めている。

今年度、事業者の募集手続きに入り、来年度から設計・建設工事に着手し、令和9年度に第1期住棟が完成予定である。第1期着手から第3期までは約10年を要すると見込んでおり、遅れが生じないように取り組んでいく。



市民クラブ
やまぐち
山口 たかゆき



子育てに対する捉え方

問 共働き家庭が増える中、本市は祖父母による「子育て」についてどのように捉えているのか。また、親世代と祖父母世代の子育てに関するギャップを解消するため「子育てガイドブック」を導入してはどうか。

答 子育てが家庭を取り巻く環境や子育てに係る制度など、時代の変化に伴い、子育ての方法等も変わってきている。そのため、親世代と祖父母世代が理解を深め合いながら、日頃からお互いに支え合うことで、子どもが健やかに成長できる環境づくりにつながるものと思われ、祖父母世代による子育てへのサポートは大切であると認識している。

ガイドブックについては、祖父母世代が子育てに関わるツール等として有効と考えるため導入について検討していきたい。



新出島クラブ
あべ
阿部のぞみ



犬猫殺処分ゼロに向けた取組

問 6月定例会で事業の財源としてふるさと納税制度の活用を進めると答弁があったが、いつ頃開始し、寄附金の使途をどのように考えているのか。

答 ふるさと納税制度の活用は、寄附金が貴重な財源となるとともに、猫の殺処分ゼロに向けた施策や本市の現状等をアピールできる機会と考えている。

現在、寄附金の使途をはじめ、寄附の手法等について検討を進めているが、寄附金を多頭飼育崩壊の防止やセンターの収容猫への支援、不妊去勢手術費の助成などに活用するといったボランティア団体からの提案も踏まえ、制度の活用が実効性のあるものとなるよう、しっかりとした仕組みを構築する必要があると考えている。引き続き、関係課と協議を重ねながら、来年度の実施に向け、積極的に取り組んでいきたい。



常任委員会における審査の主な内容

総務委員会 木鉢地区ふれあいセンター施設整備に係る令和5年度一般会計補正予算（第8号）を可決

木鉢地区ふれあいセンター昇降機設置工事において、昇降機メーカーの技術者が不足し、確保が困難となっていることから、工事が年度内に完了しない見込みであるため、ふれあいセンター施設整備事業費に係る繰越明許費が計上されました。

委員会では、今後、物価高騰などによって、材料費や工事費が高騰した場合の対応について質すなど、慎重に審査をしました。

その結果、部局間で工事を依頼する場合には、依頼をする所属と受ける所属の双方が自分たちの業務と認識し、説明責任を果たせるよう庁内で意思統一を図ってほしいとの要望を付した賛成意見が出され、異議なく原案を可決しました。



▲木鉢地区ふれあいセンター

教育厚生委員会 (仮称) 長崎市中部学校給食センターの整備運営に係る契約議案を可決

第140号議案「(仮称) 長崎市中部学校給食センター整備運営事業に係る契約の締結について」は、旧川平小学校跡地において、令和8年9月から中部地区の学校給食センターの供用開始を目指そうとするものです。

委員会では、受注者に不測の事態が発生した場合のバックアップ体制について質すなど、慎重に審査しました。

その結果、複数の学校給食センターの運営を同一の企業に委ねることは、リスク分散を考えていく上で問題がある、子どもたちに安全安心な給食を提供するための十分な施設が整っているとは言えないなどの反対意見が出されました。一方、子どもたちへの給食の安定供給に向けて、慎重で丁寧な予算執行に努めてほしいなどの要望を付した賛成意見が出され、採決の結果、賛成多数で原案を可決しました。

環境経済委員会 養殖魚赤潮被害緊急対策事業費補助金に係る令和5年度一般会計補正予算（第7号）（環境経済委員会付託分）を可決

農林水産業において、橘湾で発生した赤潮による深刻な被害を受けた養殖業者に対し、県と連携してへい死した養殖魚の代替魚導入等を支援するための養殖魚赤潮被害緊急対策事業費補助金が計上されました。

委員会では、赤潮の発生要因の分析状況と今後の具体的な対応策、養殖共済の支払い時期、代替魚導入における魚種の考え方について質すなど、慎重に

審査しました。

その結果、県・市が協力して国に対する要望活動を行い、養殖業者が事業を継続できるよう支援を行ってほしいとの要望を付した賛成意見が出され、異議なく原案を可決しました。



▲橘湾の養殖筏の様子

建設水道委員会 スマートバス停の整備支援に係る都市交通対策事業費や長崎稲佐山スロープカーの運営業務に係る公園等維持管理費など、令和5年度一般会計補正予算（第6号）（建設水道委員会付託分）を修正可決

土木費において、バスの接近情報などの運行状況をリアルタイムで表示するスマートバス停の整備を支援するための都市交通対策事業費や、長崎稲佐山スロープカーの運営業務における人員配置の見直しに係る経費を増額するための公園等維持管理費等が計上されました。

委員会では、スマートバス停の今後の整備方針や経費の負担割合について質すとともに、稲佐山スロープカーの人員配置の見直しに係る経費が増額となった経緯等を質すなど、慎重に審査しました。

その結果、今回の補正の稲佐山スロープカーの人員配置の見直しに係る経費のうち、本市が令和4年度に支払うべきであった経費については、令和5年度に負担金という形で支出をすることによる他の施設などへの影響を考慮すると認められないとの理由により、6人の委員から連名で、予算計上された令和4年度の支払いに係る負担金1,555万4,000円を減額しようとする修正案が提出され、採決の結果、全会一致で修正可決されました。

行政視察

常任委員会の付託案件に係る調査事項について、次のとおり行政視察を行いました。

委員会名・調査目的	派遣委員	期間	調査都市等・主な項目
総務委員会 行財政の効率的運営及び重要施策の推進について	竹田 雄亮、浅田 真五 福澤 照充、向山 宗子 山崎 猛	7月18日 ～20日	鶴岡市：SDGs未来都市・鶴岡の取組（鶴岡サイエンスパークの取組）など
	高橋 佳子、五輪 清隆 都留やすとし、山口たかゆき	7月31日 ～8月2日	西尾市：LINEを活用した行政サービスのデジタル化など 西宮市：DXの推進など 東大阪市：東大阪市文化創造館
教育厚生委員会 民生福祉、保健行政及び教育行政の充実について	柿田 正、相川 和彦 澤勢みずき、平 たけし 久 八寸志	8月1日 ～3日	福山市：福山ネウボラの強化など 名古屋市：ナゴヤ・スクール・イノベーション事業など
	中山 大、池田 章子 井上 重久、大石ふみき 筒井 正興	8月1日 ～3日	札幌市：札幌市子ども発達支援総合センター「ちくたく」など 杉並区：部活動の地域移行など
環境経済委員会 環境行政の充実及び地域産業の活性化について	永尾 春文、木森 俊也 林 広文、森きょうへい	7月18日 ～20日	釧路市：ゼロカーボンパークの取組 株式会社オークネット・アイビーエス：粗大ごみ画像認識AI用API 台東区：食品ロス削減の取組
	山下 巖記、梅元 建治 中西 敦信、深堀 義昭 山口まさよし	7月18日 ～20日	八戸市：八戸広域観光推進事業など 山形市：山形市売上増進支援センター（Y-biz）運営事業など
建設水道委員会 都市基盤及び住環境の整備のさらなる充実について	山谷よしひろ、梅本けいすけ 野口 達也、平野 剛	7月19日 ～21日	旭川市：中心市街地活性化推進基本計画など 札幌市：札幌駅前通地区に関する官民協働のまちづくりなど
	阿部のぞみ、岩永 敏博 武次 良治、山本 信幸 吉原 孝	7月24日 ～26日	丹波篠山市：伝統的建造物群保存地区での取組 下関市：下関海峡エリアビジョンなど

※常任委員会の行政視察報告書は、長崎市議会ホームページでご覧になれます。

傍聴の際は、補聴援助システムが利用できます

聴覚に障害のある方や難聴の方が本会議や委員会を傍聴する際に、会議の音声を鮮明に聴き取ることができるように補聴援助システムを導入し、機器を貸し出しています。

イヤホンかヘッドホンを選べますので、利用を希望される場合は、傍聴の受付の際にお申し出ください。（数に限りがあります。）



12月定例会の予定

※日程は変更となる場合があります。

日	月	火	水	木	金	土
12/3	4	5	6	7	8	9
	本会議 (招集日)			本会議 (市政一般質問)	本会議 (市政一般質問)	
10	11	12	13	14	15	16
	本会議 (市政一般質問)	本会議 (市政一般質問)	常任委員会	常任委員会	常任委員会	
17	18	19	20	21	22	23
	常任委員会	特別委員会		本会議 (委員長報告等)		

次号：令和6年2月1日発行予定